

コミュニティ創出事業

特定非営利活動法人 亘理いちごっこ



事業の実施内容

□ 【亘理いちごっこ】は大きな家族を目指す。

- これまでと同様、地域と全国・世界の方々とつながり、大きなコミュニティを作っていくことを目的とし、目的遂行のため貴財団からの助成を有効に活用させていただいた。具体的事業は下記のとおりである。
 - ① わたり Home Coming Day」の開催
 - ② 各種講習会の開催
 - ③ 研修会の開催
 - ④ 「お茶のみサロン」及び「ママサロン」の開催

①わたり Home Coming Day の開催

- 8月に亘理町中央公民館にて開催。
- 2－3月にかけての6日間においては亘理町に限定せず、被災地域で活動する団体が語り学びつながることを目的として仙台市にて開催（被災地Home Coming Day）。
 - 会期中100名を超える発表者を含め2,500名の来場者となった（パンフレット参照）。

②各種講習会の開催

さをり織などの手作りグッズ講習会
などを開催。

- 商品化し全国に発信中。
- みんなが集まって手作りを楽しむだけではなく、そのコミュニティを継続していくための資金源ともなっている。
- アクリルたわしなど初期の復興グッズに加え、収入の道を見出すことが出来た。



③研修会の参加

□NPOセンター主催研修会に参加

人気商品である「クラッシュいちご」の商品価値をどのように高め、販売していくかなどの学びとなった。
また販路拡大のきっかけもいただいている。

④ 「お茶のみサロン」 及び 「ママサロン」 の開催

- 仮設・みなし仮設住宅を個別訪問していた活動から罹災者が集まり語り合う場「お茶のみサロン」を運営する活動にシフトしてきている。
- 被災当初の、又、日々の生活の苦しさを語る場がなかった方々の癒し・交流の場となっている。
- ヤングママたちの育児の孤独化を防ぎ、交流する場として「ママサロン」を開催。お菓子作り・ベビーマッサージ等を行う。



実施した事業の具体的な成果

- ① 被災地3県で活動する団体との学びの場となり、そこでの出会いが、支え合いの始まり、および継続
- ② ボランティアに、地域に本助成を還元
- ③ 心身ともに発散と受容の場を創出
- ④ 自主収益事業の充実を図るべく研修、参加しなかったメンバーとも共有

①被災地Home Coming Day

- それぞれの活動を通して、地域融合の活動とすることが出来た。その地域は巨理町という狭い範囲にとどまってははいない。近隣町からの参加もなされただけでなく、被災地Home Coming Day においては被災地3県で活動する団体との学びの場となり、そこでの出会いが支え合いの始まりおよび継続となっている。



②ありがとうチケット（地域通貨）を発行

- ビジネスマッチングも行うことが出来ている。ありがとうチケット（地域通貨）を発行し、ボランティアと地域を結ぶツールとすることが出来た。ボランティアに、地域に本助成を還元することが出来た。



③お茶のみサロン

- 個々に抱えていたダメージをふるさとを同じくする者たちと共有することによって元気をいただいている。
- 初めは語るだけでいいという気持ちであったが、講師をお呼びしてヨガやメイクセラピー、ガラスモザイクなどの手作りアートを行い、心身ともに発散と受容の場を創出することが出来た。
- ままサロンにおいては福島県から避難している母子も参加し、地域融合の場ともなった。



④自主収益事業の充実を図るべく研修

- 自立したコミュニティ創出のための活動が続けていくことが出来るよう自主収益事業の充実を図るべく研修を受けた。その学びを持ち帰り、これからの事業組み立てのために参加しなかったメンバーとも共有している。